

全国の最近の経済動向

[全国の景気] 足踏み

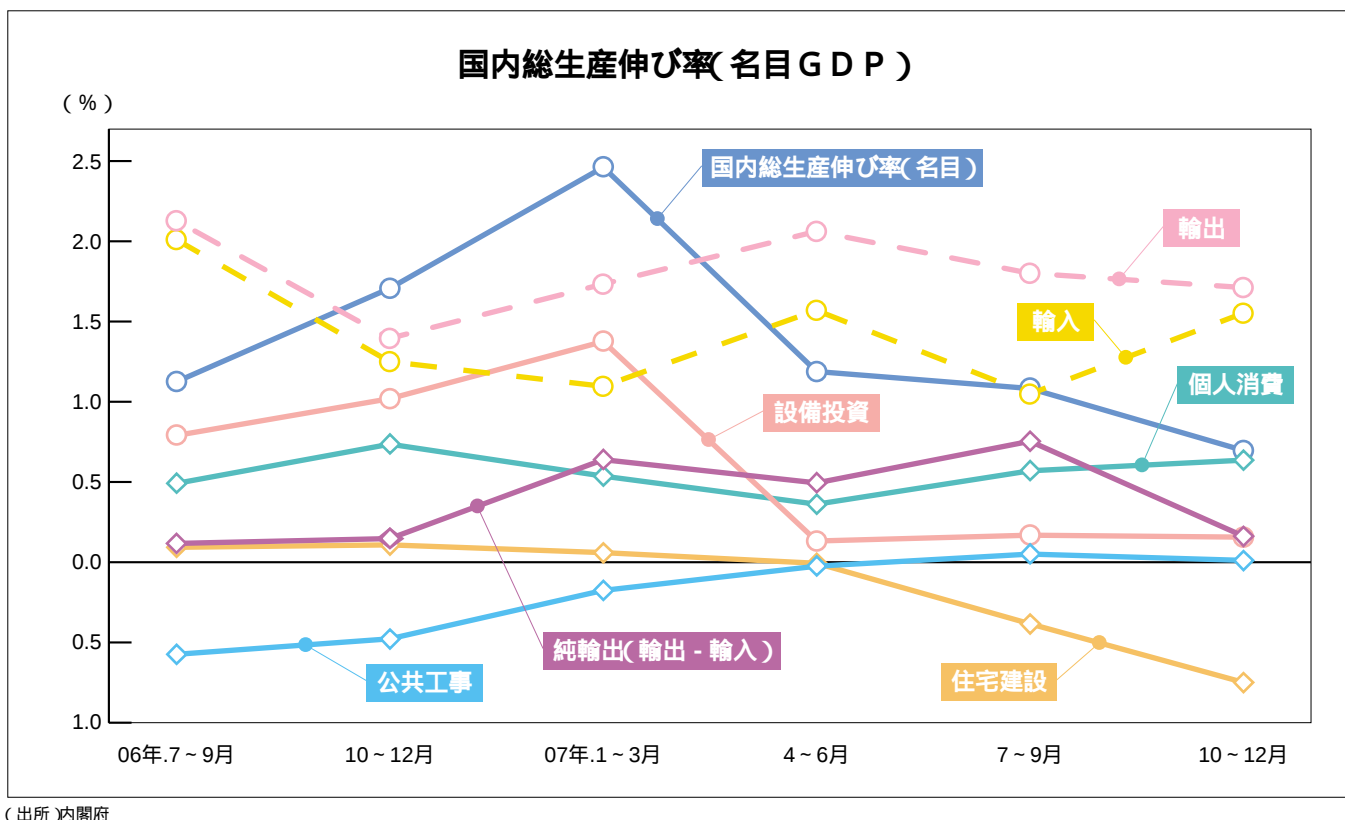
輸出が堅調に推移していることを背景に生産は高水準を持続していますが、先行きに対する不安から設備投資は一服しています。また、個人消費が低い水準で推移しているほか、住宅投資も減少し、景気は全体としてみると弱含みとなっています。

物価の上昇がガソリンや食品などの消費財にも及んできており、個人消費への影響が懸念されます。

長期指標分析

[国内総生産] 増加が続くが伸び率が低下

- 前年同期比の伸び率が、7～9月の1.1%から10～12月は0.7%に低下。
- 伸び率が低下した主な要因は、純輸出の伸び率低下と住宅建設の減少幅拡大。
- 住宅建設の減少は、建築基準法改正に伴う申請の減少。
- 純輸出の伸び率低下は、輸入が石油価格上昇に伴い増加したことによるもので、輸出は好調が続いており、輸出産業も好調が続いています。一方、石油価格の上昇の製品価格への転嫁が遅れており、企業業績の圧縮要因となっています。
- 企業の設備投資は、4～6月期より低い伸び率が続いています。
- 公共工事は、4～6月期より前年並みで、低下傾向が一服しています。



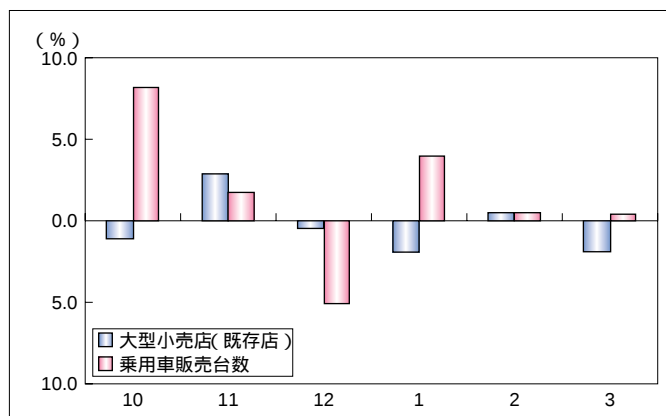
福岡県の最近の経済動向

[福岡県の景気].....緩やかな回復

輸出が増加基調を続けていることを背景に生産は高水準を持続、設備投資も堅調に推移しています。また、個人消費は底堅く推移しているほか、公共工事も回復基調で、景気は緩やかに回復基調を続けています。ただし、生産や輸出が伸びているのは主に自動車で、他の産業は米国景気減速の影響もあり、伸び悩んでいます。

[個人消費].....底堅い動き

福岡県の販売動向
(前年同月比)

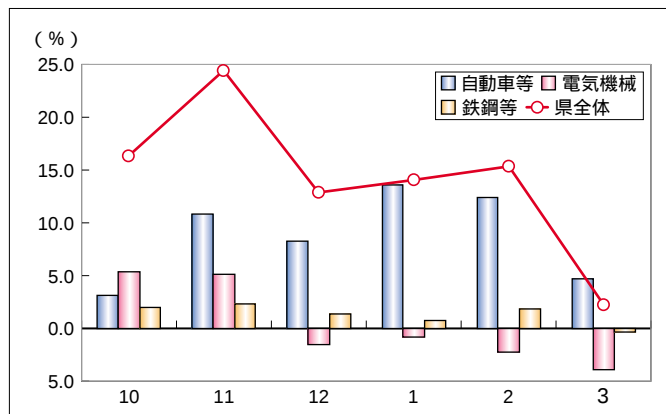


(出所)九州経済産業局、日本自動車販売協会連合会

- ・大型小売店販売では、食料品の販売は好調でしたが、気温が低く推移したことによる春物衣料の不振で衣料品が減少したことから、全体では伸び悩みました。
- ・乗用車販売は、小型は減少しましたが、大型が増加しており、全体でも増加が続きました。
- ・家電品販売では、薄型テレビやDVDレコーダーなどのデジタル家電の好調が続きました。

[輸 出].....増加が一服

福岡県の輸出
(品目別寄与度・前年対比)

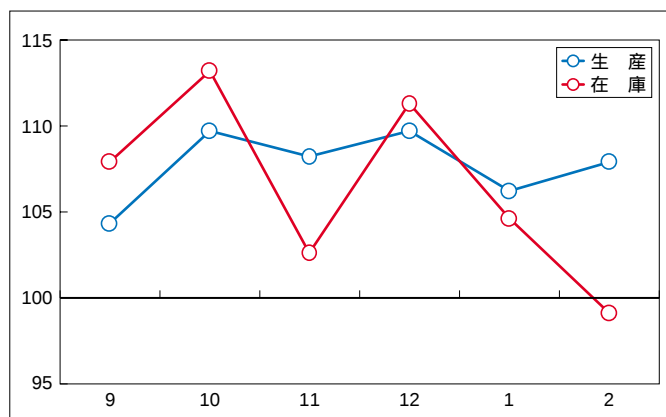


(出所)財務省

- ・前年比10%以上の増加が続いていた福岡県の輸出の伸び率が、ほぼ2年ぶりに2%台に低下しました。
- ・中国向けの電気機械が減少したほか、中南米むけで船舶が減少しました。
- ・自動車では米国、中国向けは増加が続きましたが、西欧向けは前年並みとなりました。
- ・鉄鋼等も前年並みとなりました。

[生産・在庫].....生産は高い水準を持続、在庫は縮小

福岡県の生産と在庫

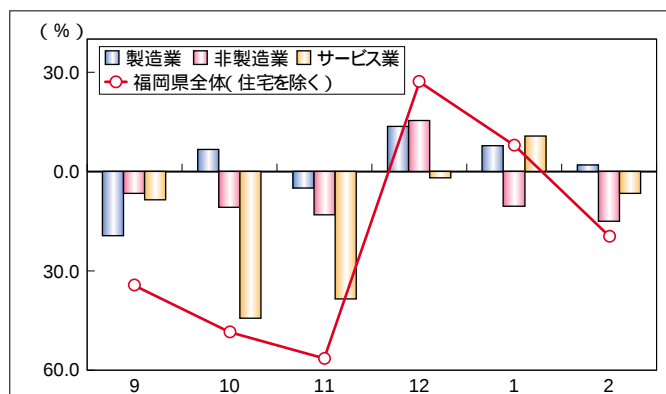


(出所) 福岡県

- ・生産は高い水準を持続していますが、在庫積み増しをしていた自動車の出荷が進んだことから、在庫は急速に低下しています。
- ・生産では、自動車は高い水準を持続していますが、増加は一服しました。
- ・化学、一般機械、金属製品が上昇しました。
- ・食品、電子部品は低下しました。

[設備投資 (建築着工・除く住宅)].....増加が一服

福岡県建築額増減
(除く住宅・業種別寄与度)

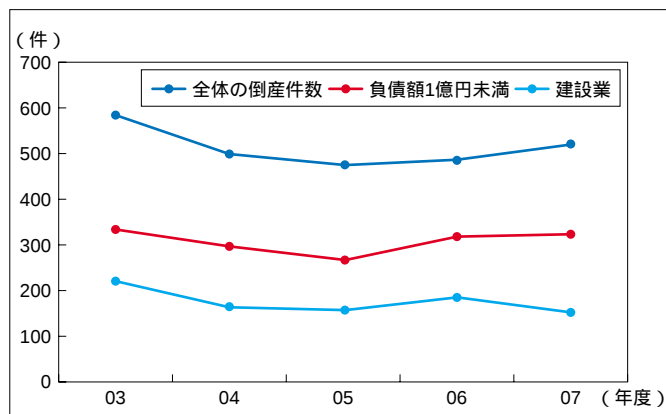


(出所) 国土交通省

- ・製造業は増加が続きましたが、非製造業、サービス業が減少し、全体も前年を下回りました。
- ・製造業は自動車部品工業の増築などから増加が続きました。
- ・非製造業では、「運輸業」が昨年増加した反動減もあって減少しました。
- ・サービス業では、「教育・学習」が増加しましたが、「医療・福祉」は減少しました。

[倒産件数].....増加傾向

福岡県の倒産件数



(出所) 東京商工リサーチ

- ・件数は2001年度からの減少傾向が止まり、06年度から緩やかながら増加傾向。
- ・負債金額で見ると、1億円未満の企業が増加。一方、1億円以上の大型倒産は減少傾向が続きました。
- ・公共工事の抑制等で増加していた建設業の倒産件数は03年度から減少傾向。

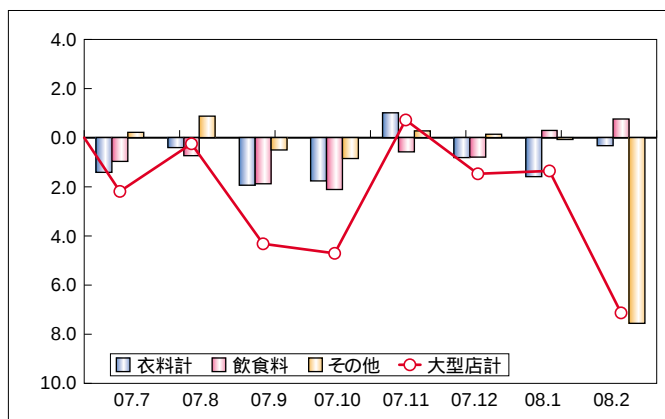
熊本県の最近の経済動向

[熊本県の景気].....概ね横ばいの推移だが、一部弱含み

生産は依然低迷していますが、現時点では個人消費に大きな影響は出ていません。資源高による企業消費や損益への悪影響が続けば、今後厳しい局面も予想されます。

[個人消費].....横ばい

熊本県の大型店販売
(前年同月増減寄与度)

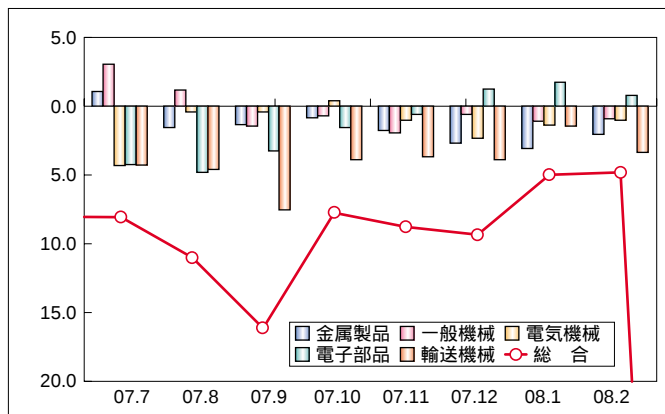


(出所)九州経済産業局

- ・春先の冷え込みの影響で春物衣料が不調となっています。
- ・景気後退の余波でブランド品をはじめ全体に買い控えの動きがあります。
- ・新車登録台数08年3月は前年同月比1.3%と横ばいの推移です。
- ・08年2月のその他商品の落込みは前年同月の突出が要因です。

[生 産].....電子部品を除き依然低迷

熊本県の生産原指数(季調済)
(前年比増減寄与度)

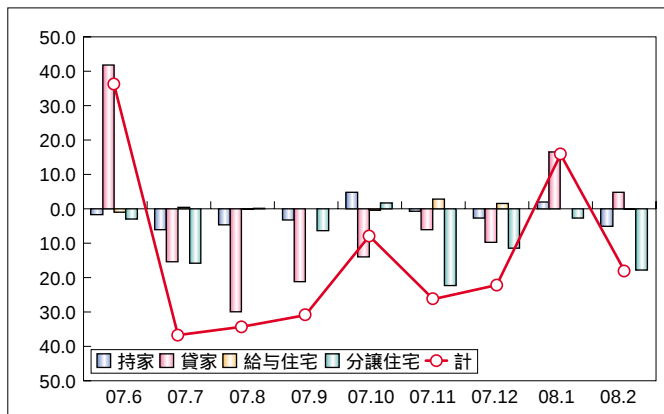


(出所)熊本県

- ・07年4月より前年比割れが続き、07年9月をボトムに以降、減少幅は縮小傾向にあるものの、依然低迷しています。
- ・電子部品、デバイスのみ07年12月以降、前年比増加しています。

[住宅建設].....減少

熊本県の住宅着工戸数（用途別）
（前年同月比寄与度）

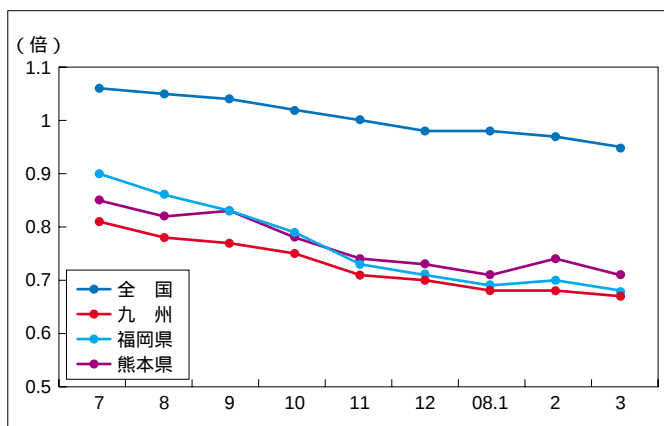


（出所）国土交通省

- ・ 07年6月の改正建築基準法施行の影響により減少しています。
- ・ 08年に入り貸家は増加しましたが、分譲住宅は前年比▲65%と激しい落ち込みを示しています。
- ・ 貸家増加は菊陽、合志地区への大手メーカー進出の影響とみられます。

[雇 用].....低下傾向ながら九州では健闘

有効求人倍率推移

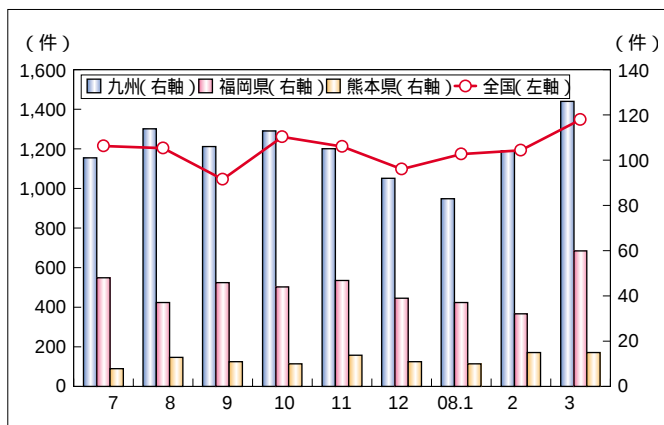


（出所）厚生労働省

- ・ 全国的に有効求人倍率は低下傾向となっています。
- ・ 熊本県は半導体や輸送機器産業で雇用が比較的堅調です。九州地区では平均以上の比率を維持しています。
- ・ 完全失業率は07年12月現在で3.8%(全国平均並み)となっており、九州平均4.0%、福岡県の4.6%を下回る水準です。

[企業倒産].....横ばいで推移

企業倒産件数推移



（出所）東京商工リサーチ

- ・ 08年に入り、企業倒産件数は全国的に増加傾向となっています。九州、福岡県も急増しています。
- ・ 熊本県は10件台でほぼ横ばいの推移です。
- ・ 倒産企業負債総額は全国的に横ばい推移となっています。
- ・ 大型倒産が減少し、中小零細企業の倒産が増えています。

長崎県の最近の経済動向

[長崎県の景気].....生産面では堅調に推移しているものの、総じて減速感が見られる

生産活動 2月の大手・中堅造船2社(三菱重工業長崎造船所・佐世保重工業)の造船部門及び機械部門は、生産高、受注残高ともに堅調に推移しています。

建設関連 3月の建設関連指標は、新設住宅着工戸数、公共工事請負額ともに前年を上回りました。

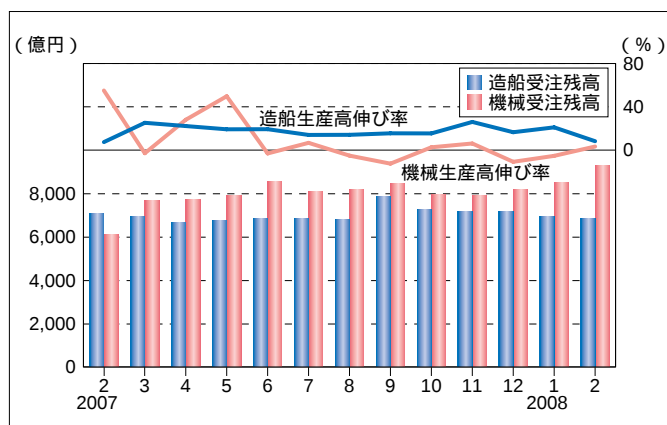
商業関連 3月の大型小売店販売額は百貨店・大型スーパーともに前年を下回りました。

観光関連 3月の主要観光施設の入り込み状況は、集客力のある大型施設を中心に、全18施設中9施設で前年を下回りました。また、3月の主要ホテル・旅館の宿泊客数についても同様に前年を下回りました。

漁業関連 3月の県内主要4魚市場の水揚げ実績は、水揚げ金額で前年を下回りました。

[生産活動(造船・機械部門)].....生産、受注残高ともに高水準続く

大手・中堅2社の造船及び機械部門の受注残高・生産高伸び率



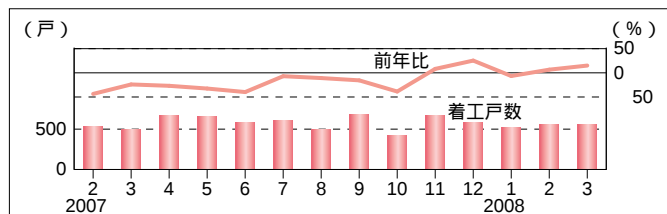
(出所)三菱重工業長崎造船所、佐世保重工業

2008年2月の県内大手・中堅造船2社の造船部門の生産・受注状況をみると、生産高は前年比8.3%増の179億円と前年を上回りました。また、受注残高は同3.7%減の6,833億円と、前年を下回ったものの、高水準で推移しています。

一方、機械その他部門の生産・受注状況をみると、生産高は前年比3.4%増の261億円、受注残高は同52.5%増の9,292億円と、生産高、受注残高ともに堅調に推移しています。

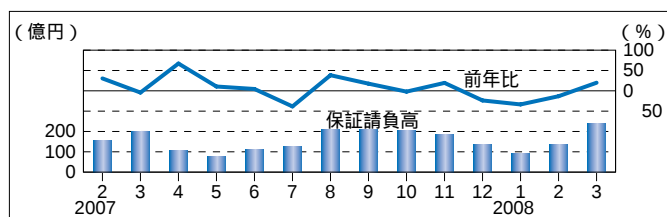
[建設].....住宅着工件数、公共工事請負額ともに増加

長崎県の新設住宅着工戸数



(出所)国土交通省

長崎県の公共工事保証請負高



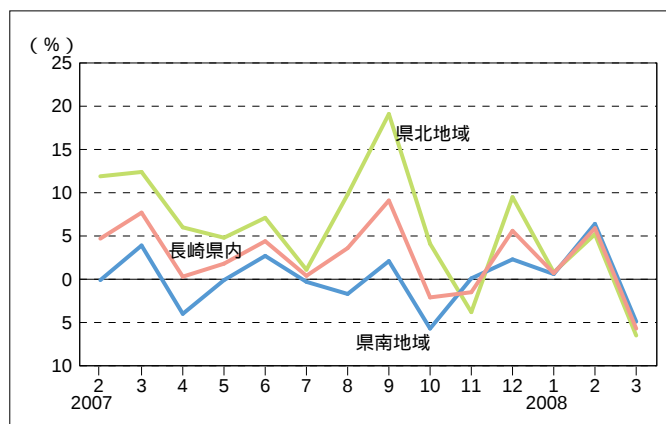
(出所)西日本建設業保証

2008年3月の新設住宅着工戸数は、昨年の反動増もあり、前年比13.0%増の558戸と、2カ月連続で前年を上回りました。市郡別にみると、長崎市で同43.5%減の113戸と大幅に減少したものの、諫早市や大村市など、県央地区の伸びが目立ちました。

一方、2008年3月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比36.9%減の263件、金額が同19.9%増の240億円と、金額で前年を上回りました。発注者別の請負金額をみると、「市町」で同45.4%増、「県」で同21.0%増と前年を大幅に上回り、全体を大きく押し上げています。

[観 光].....主要観光施設、宿泊客数ともにマイナス

長崎県の主要ホテル・旅館宿泊客数前年比伸び率



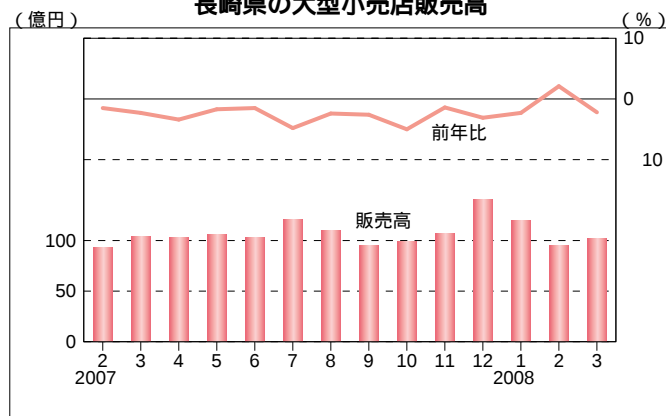
(出所) 日本銀行長崎支店

2008年3月の長崎県内主要観光施設の入込み状況は、全18施設のうち9施設で前年実績を下回りました。長崎市や佐世保市の中核観光施設の集客がマイナスになった影響などにより、全施設合計は前年比7.1%減の64万7,300人となりました。

また、3月の長崎県内主要ホテル・旅館54社の宿泊客数は、昨年は3月にまたがって開催された「長崎ランタンフェスティバル」が2月中に終了した影響などで、県南地域で前年比4.9%減、県北地域では同6.5%減となり、合計で同5.7%減少し前年を下回りました。

[大型小売店].....百貨店、大型スーパーともに前年比マイナス

長崎県の大型小売店販売高



(注) 百貨店とスーパーの販売高の合計 (店舗調整前)

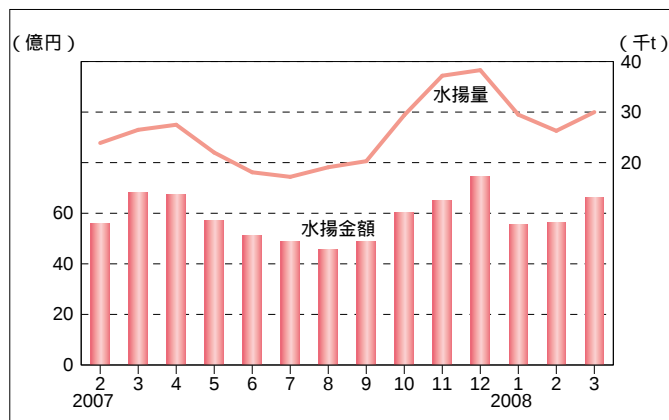
(出所) 九州経済産業局

2008年3月の県内大型小売店販売高は、食料品の値上げなど売上増加要因もあったものの、春物衣料の売れ行きが鈍く、前年比2.2%減の102億円と前年を下回りました。

業態別にみると、百貨店では衣料品の動きが鈍く、販売高は前年比2.4%減となりました。また、大型スーパーは同様に同2.1%減となっています。

[漁 業].....水揚量が増加するも、水揚金額は前年を下回る

長崎県4魚市場の水揚量と水揚金額



(出所) 長崎、佐世保、北松、松浦の4魚市場の合計

2008年3月の県内主要4魚市場の水揚実績をみると、水揚量は前年比13.2%増の2万9,989トン、水揚金額は同3.3%減の66億1,200万円となりました。

3月は、カタクチイワシなどが豊漁だったことなどにより水揚量は増加したものの、魚価の低下により水揚金額は前年を下回りました。